

◆◆◆ 又吉 薫 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 男女共同参画社会の形成と女性に関する施策の推進状況 ◆◆◆

質 女性が輝く女性が活躍する社会の実現、女性の参画の促進は

重要課題。既に女性は家庭生活、地域活動など多くの場面で活躍し、女性の参画無くしては社会は成り立たない。女性の社会参画を推進する上で何が足りないか、一つは、組織の意思決定過程への参加が進んでない。もう一点は、女性が安心して働くための職場環境になっているか、恩納村議会も女性議員はゼロ、女性が立候補できる環境整備も必要。以上のことを踏まえ質問します。男女共同参画の整備状況、推進状況について伺います。

答 総務課長 新里勝弘

平成28年、女性職員の活躍の推進に関する行動計画を策定。管理的地位にある女性の割合を平成33年度までに10%にする。30年は推進条例を制定、新たな男女共同参画社会の創設を推進したい。

質 女性の視点、女性の声が意思決定に反映されているか、審議会、委員会への女性の登用状況について。

答 総務課長 新里勝弘

国保運営協議会等17審議会の内、女性登用審議会は10審議会、女性委員数20人で14%、選管、教

育委員会で3人10%。

質 恩納村の女子職員の採用と登用状況及び当局の基本的な考え方。

答 総務課長 新里勝弘

職員数(正規職)135人、課長職14人、女性管理職はいない。係長42人、うち女性16人、一般職79人の内、女性33人(41.7%)、女性の係長が10%増え、能力ある女性も多く、今後管理職として登用と考えている。

質 女性職員採用枠があるか、女性職員は一定の責任を持つ段階になると辞退もあるか。

答 総務課長 新里勝弘

採用に関し女性、男性分けての採用試験方式は取っておりません。産休等で1年、2年職場を空けるリスクを負っている。しかし、登用に関し、積極的に受けて頑張っている。

質 役場内で女子職員の働く環境について話し合う環境になっているか。

答 総務課長 新里勝弘

女性問題に特化しての話の場は設けていない。研修派遣など展開している。

質 民間女性団体とのネットワークを繋げての男女共同参画、女性の社会進出問題が話せる環境にあるか。

答 総務課長 新里勝弘

女性団体と連携して事業に取り組んでいない現状。男女差別の研修で北中城の婦人団体と意見交換。今後、村内の女性団体も含め、連携を持てればと考えます。

質 恩納村における男女共同参画に向けての方針と具体的な施策、計画、今後の予算措置等、どう総合的に関わっていくか。

答 総務課長 新里勝弘

男女共同参画の推進条例を制定し、具体的な施策としては、各審議会への女性の登用を推進。予算措置については、各女性団体が事業に向けてサポートが必要であれば、予算措置なり協力を考えております。

質 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置状況について。

答 総務課長 新里勝弘

男女共同参画事業の展開は、総合的施設の設置の前に、関係団体との連携を密にと考えます。

◆◆◆ 佐渡山 明 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 第35回うんなまつりについて伺う ◆◆◆

質 村民の期待も大きいため、来年度は今年以上に内容の濃いまつりにしていくことが大切。去ったうんなまつりから50日経過したが、まつり実行委員会としての事業評価を行ったのか。

答 商工観光課長 宮平 寛

事業評価は行っておりませんが、福引抽選券の裏面のほうに、村民からの意見、感想を伺っている。

質 「鉄は熱いうちに打て」という言葉があります。物事は関係者

の熱意があるうちにことを運ばないと、あとでは問題にされにくくなる。問題が見えなくなる。つまり、まつりの開催後の直近こそが、事業評価は行いやすく、改善点の解決にも結びつくのではないかと考えている。

答 村長 長浜善巳

もつと村民が多く参加できるような仕組みづくりも、私たちは考えていきたいと思っている。

◆◆◆ サングの村宣言、今後の展開を伺う ◆◆◆

質 持続可能な社会の構築を目指し、サングの村宣言を行っておりますが、今後はどのように展開されていく予定でしょうか。

答 企画課長 山城雅人

国連環境日本協会と来月に包括協定を締結したいと考えている。国連が定めた持続可能な開発目標が、サングの村宣言に取り組みことと合致する内容が多いという環境保護活動、地域の振興を図るために実施していく予定。

質 1年前の9月に、オキシベンゾンなどの化学物質を含む日焼け

止めの規制を行ってはどうかと提案いたしました。去った5月1日に、米国ハワイ州が世界で初めてサング礁に有害とされる日焼け止めの販売と流通を禁止する法案を可決し、来年1月にも施行されると大きく報道されていきました。自然に優しい村づくりを行っていく上でも条例制定を望みますが、考えを伺う。

答 村長 長浜善巳

啓蒙活動を中心に環境保全に対する意識の向上を図ってまいります。

◆◆◆ 不妊治療の助成制度を再質問する ◆◆◆

質 村では実施されていない助成制度。不妊治療助成事業は、村の未来のためにも、村民福祉のためにも、大変重要な施策です。何よりも不妊治療を受けている夫婦は、高額な医療費のために、治療を受けながらも働かなければならないジレンマや、また肉体的にも、家族や親戚からの期待などによる精神的な苦痛もあり、大変つらい治療、つらい思いをしている。助成を実施していただき

◆◆◆ 本村の災害時緊急対応を伺う ◆◆◆

質 村民の避難場所として、ホテルと災害時応援協定は結ばれたのか。

答 福祉健康課長 長浜保治

県内の15市町村で助成を行っている。内容の詳細について検討を行いながら、31年度の実施に向けて取り組んでいきたい。

答 総務課長 新里勝弘

村内ホテル等との災害応援協定は、まだ締結されていない。津波が来た場合は甚大な被害が予測されており、協定は必要だと痛感している。早めに協定を結んでいきたいと考えている。

質 本村の災害時避難カートの普及状況は。

答 総務課長 新里勝弘

現在、恩納村は避難カートの作成を進めていないのが現状です。

質 カードの必要性は考えていらっしゃるのか。

答 総務課長 新里勝弘

避難マップの作成を来年度予定しているところです。